

缶バッジ製作  
ビジネスにおける

生産性向上のための  
ポイント💡



# はじめに

缶バッジ製作は高い需要が期待でき、また時代が移り変わっても柔軟な対応が可能であることから、ビジネスの軸として考える企業も多いのではないのでしょうか。

一方で、着手はしたものの、缶バッジ生産が効率的にできておらず、生産効率が思うように向上せず、長時間労働の慢性化などに頭を悩ませているというケースも少なくありません。

当Ebookでは缶バッジ製作ビジネスにおいて、生産性向上のための見直しに関するお役立ち情報をくわしく解説していきます。現状の缶バッジ製作体制のあらゆる課題を解消し、品質向上、効率化、業務負荷軽減などを実現するアイデアを提案いたします。

自社が今、何をすべきかというお悩みの解決策を見出し、事業成果獲得の参考としていただければ幸いです。

## もくじ

はじめに	01
缶バッジ製作ビジネスにおいて、生産性向上が重要な理由	02
生産性向上を妨げる要因は何か？	03
改善案の提案 1	04
改善案の提案 2	05
まずは「生産設備（缶バッジマシン）の見直し」と「素材・仕入れ先の見直し」を	06
それぞれの見直しポイント	07
缶バッジマシン、パーツは「バッジマンネット」	08
生産性向上の課題に立ち向かう「バッジマンネット」のこだわり	09
まとめ	10

# 缶バッジ製作ビジネスにおいて、生産性向上が重要な理由

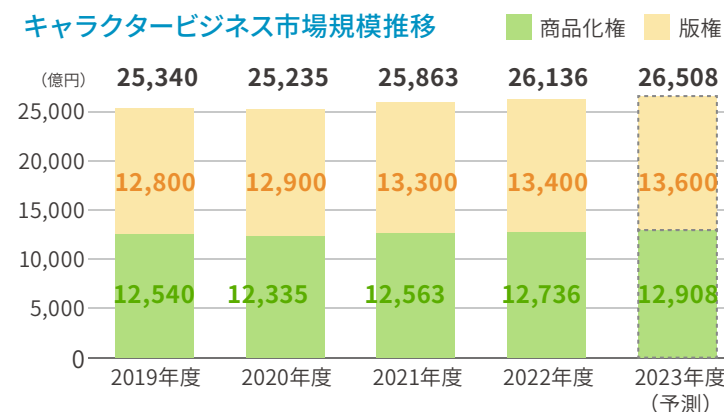
はじめに缶バッジ製作ビジネスに関連する市場の動きを見ながら、生産性向上が求められる理由を解説します。

## 缶バッジ製作ビジネスを取り巻く現在の市場状況

株式会社矢野経済研究所の調査によると、2023年度のキャラクタービジネス市場は前年度比101.4%の2兆6,508億円と予測されています。とくに缶バッジ需要と直結するアニメや漫画、アイドル、アーティストなどの市場は、右肩上がりの成長が続いています。

こうした市場は缶バッジとの相性が良く、需要と密接な関係があります。近年、アクリルスタンドやキーホルダー、フィギュアなど、さまざまなキャラクターグッズが登場するなかでも、缶バッジは過去から現在まで途切れることなく、愛好家必須のアイテムとして年代を問わず幅広い層からの支持を受けています。キャラクタービジネスの盛況は、間違いなく缶バッジ製作ビジネスの追い風になると考えられます。

## キャラクタービジネス市場規模推移



参照:キャラクタービジネスに関する調査を実施(2023年)|矢野経済研究所

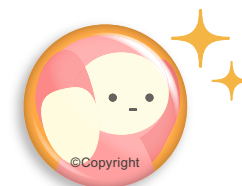
## 今後の缶バッジ市場の予測

矢野経済研究所の予想では、2030年のオタク人口比率は30%を超え、いずれ40%に近づくと言われています。さらに「推し活」ということばが社会的に浸透しており、「特別なお気に入り」を持つのはもはや狭い範囲のオタクの話ではなくなりました。こうした社会傾向においては、自分の限られた予算のなかで可能な限り、自分の好みのものにお金を費やすというスタイルが一般化すると考えられます。先にも説明したように、缶バッジはジャンルを問わず世界観を表現できるアイテムであり、大きさ、バリエーション、活用の点から見ても、個人の趣味を大切にする社会の流れにマッチしていると考えられます。

消費者の好みの細分化や、キャラクター、アニメ、アイドルなど、大衆文化がさらに生活の中心を占める傾向が強まるとともに、缶バッジ市場もますます拡大していくと予測されます。

## なぜ生産性向上が求められるのか

キャラクタービジネスの好調を受けてグッズの市場は競争が激化し、製品の価格や品質に関する要求が高まっています。より良い製品を、より効率的に生産できる体制は、競合他社に対抗し、競争力を維持するための必須条件です。刻々と変わる消費者ニーズに対し、どれだけ柔軟性をもって対応できるのかもポイントとなります。製作現場で人材不足が深刻化する状況下にあっても、納期を遵守し、高い水準の品質を維持するためには、生産性の向上が企業にとってもっとも重視すべき課題となります。



# 生産性向上を妨げる要因は何か？

生産性向上を実現するためには、障害となっている要因を取り除く必要があります。課題の明確化に役立つ考え方を解説します。

## 生産性とは

そもそも生産性とは何でしょうか。一般的には、投資に対する成果であり、ある時間枠やリソースを使用して、最大の価値や成果を生み出す能力を示す尺度とされます。そこから**生産性の向上とは、限られたリソースを最大限有効活用し、最大限のアウトプットを生み出せるようにすること**であると言えるでしょう。

## 生産性を妨げる要因

製作の現場で生産性を妨げる要因としては、以下のようなものがあります。

### マシンの故障とメンテナンス

缶バッジ製作に使用されるマシンや設備の故障により、生産性は低下します。マシン自体の性能に比べ、メンテナンス計画や予防的保守が不足していると、マシンの停止時間が増え、生産性に悪影響を及ぼします。

### 不良品率の高さ

品質管理が不十分な場合、不良品の廃棄や再生産に時間とリソースを費やす必要があるため、生産性が著しく低下します。とくに完成品の廃棄はロスが大きいため、生産過程での品質チェック体制を整えることが重要です。

### プロセスやレイアウトの最適化不足

生産プロセスや生産施設のレイアウトが効率的でない場合、ムダな動きや作業が発生し、生産性が低下します。

### 生産計画の不備

適切な生産計画やスケジューリングが不足している場合、生産ラインの停滞や過剰な在庫が発生します。



### 材料供給の問題

缶バッジの製作には特定の材料（シェル、フィルムなど）が必要です。材料供給の遅延や品質の問題があると、生産ラインがストップしたり、不良品が増加したりする可能性があります。

### 作業者のスキルのバラつき

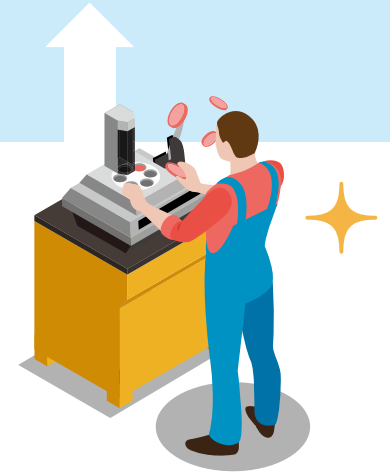
作業者スキル・経験差による品質のバラつきは、生産性低下の大きな要因です。訓練不足や作業者の不慣れさが、品質や効率に影響を与えます。

# 改善案の提案 1

生産性の改善を目指すためには、先にあげた要因ごとに改善策を考える必要があります。

## ■ 生産性を向上させるためのポイント

缶バッジ製作において生産性を高める改善案としては以下のようなものがあります。

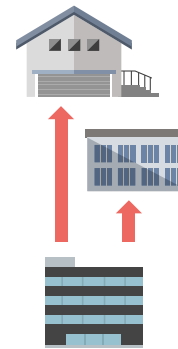


### 業務効率化

- プロセスの効率性を向上させるために、生産ラインの各段階を詳細に分析し、最適化を図ります。
- タスクの優先順位付けやタイムマネジメントを改善し、ムダな時間がないか確認し、是正します。
- 
- 



### 生産業務のアウトソーシング



特定の作業工程やタスクを外部の専門業者にアウトソーシングすることで、生産性を高めつつ品質を担保することができます。ただし外部への依頼では、納期と品質のコントロールが難しくなります。また自社の品質基準をアウトソーシング先に浸透させるよう技術やノウハウを適切に共有し、指導することが重要です。品質に厳しいクライアントに対しては、自社での生産がもっとも安心できます。

### 設備の見直しや新調



古いマシンや設備を見直し、最新のテクノロジーを導入することで、生産プロセスを効率化します。高性能でありつつ、操作が容易なマシンの導入は、熟練した作業者が確保できない場合でも品質の保証された商品生産の有効策となります。

### 作業工程の標準化



作業工程を標準化し、作業者が一貫した方法でタスクを実行できるようにすることで、品質の均一化が図られます。作業が標準化されると、トレーニングや監督も容易です。

# 改善案の提案 2

## 生産性を向上させるためのポイント

### 5S (整理・整頓・清掃・清潔・しつけ) の浸透

5Sによる労働環境の管理は、労働場所の整理と効率化を促進します。工場内で整頓と清潔を維持し、ムダを減らし、障害を排除することで安全を確保しながらスムーズな作業を実行することができます。



### 品質管理の強化

品質コントロールのプロセスを強化し、不良品率を低減する取り組みを行います。不良品が最終的な生産ラインに進入するのを防ぐため、発生率の高い箇所を特定して監視することが大切です。また、品質を維持するための前提として、自社とクライアントの「良品基準」の共有による認識の一致が重要です。



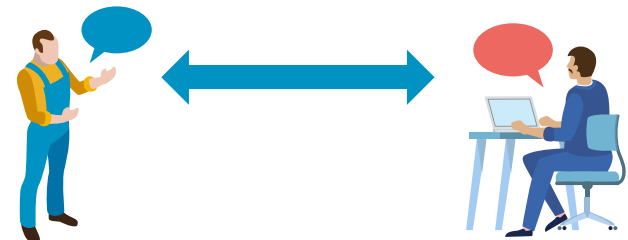
### 素材 (パーツ) と仕入れ先の見直し

材料や部品の供給先を見直し、高品質なパーツを提供可能な、信頼性の高いサプライヤーを選定します。また供給チェーンの透明性を高め、供給遅延を最小限に抑えることで、品質と生産性の両方の向上が期待できます。



### コラボレーションとフィードバック

従業員同士やチーム内の協力を強化し、アイデアや改善提案を受け入れます。作業工程に関する現場からのフィードバックは、作業の円滑化のための現実的で貴重な情報です。細かな声を逃さずに取り入れ、プロセスの改善を継続的に実施していきます。



(缶バッジマシン)

# まずは「生産設備の見直し」と「素材・仕入れ先の見直し」を

まず着手すべき「生産設備 (缶バッジマシン) の見直し」と「素材・仕入れ先の見直し」の2つの改善点と具体的な見直しポイントを説明します。

## ■ まずこの2点を見直すべき理由

例えば作業工程の大幅な変更やアウトソーシングの検討、新たなルール制定などは、現状分析や検討、内容の設計、周知、導入まで多くの工程があり時間がかかります。設備や仕入れ先の変更は、あまり負担のない小規模な変更ですが、生産性の大幅な改善が期待できます。

### 生産設備 (缶バッジマシン) の見直しのメリット

#### 生産速度の向上

より高速で製作可能なマシンを導入することで、バッジの生産速度が向上します。手動缶バッジマシンから自動缶バッジマシンに切り替える場合、3～4倍の生産スピード向上が期待できます。

#### 品質の向上

精度の高いマシンを導入することで、品質の一貫性を高め、不良率を低下させることができます。とくに自動缶バッジマシンであれば、個々の作業者の熟練度に品質が左右されにくいいため、製品ロスが減少します。

#### 作業効率の向上

より作業者の負担が少ないマシンを選ぶことで、長時間の作業でも一定品質を保つことが可能です。商品あたりの作業負担が少なく、また、1個当たりの生産作業時間が短縮されることで、長時間労働の改善も期待できます。

### 素材・仕入れ先の見直しのメリット

#### 品質の向上

高品質な素材を提供する信頼性の高いサプライヤーを見つけることで、不良品の発生率が低下します。素材そのものが良品であれば、破損や不備が減り、品質の向上に貢献します。

#### 供給の信頼性の向上

仕入れ先を見直してタイムリーな供給と適切な数量の確保ができるようになれば、生産ラインのスムーズな運用が可能となります。供給が間に合わず作業ができないといった事態に陥ることがなく、計画に沿った作業の進行により生産効率が向上します。

#### コスト削減

適切な価格交渉や供給チェーンの最適化により、原材料コストを削減できる可能性があります。ムダなコストをなくし、資金に余裕ができれば、より高性能なマシンや高品質な素材の購入に振り分けられます。

#### リスク管理

複数の供給先を評価し、リスク分散策を検討することで、供給リスクを軽減することができます。仕入れが間に合わないときの代替案や、品質に問題がある場合の仕入れ変更など、さまざまなリスクを想定しておくことが大切です。

# それぞれの見直しポイント

さらに、見直す際に押さえておくべき点や注意点を説明します。

## 生産設備（缶バッジマシン）

### ✓ 自動または手動の選択

生産量や用途に応じて、自動化か手動操作かを検討します。大量生産が必要な場合や労力を削減したい場合には自動化が適していますが、小ロットのカスタムバッジやイベント利用などの特別な用途、作業量とコスト面のバランスを考えたときには手動操作が良い場合もあります。

### ✓ 生產品質

缶バッジマシンの均一性は、必要不可欠な条件です。単に生産スピードが速いだけでなく、生産量が増えてもクオリティが変わらず、安定生産ができることが重要です。また、紙の厚さやフィルム印刷などの条件が変わっても対応ができることや、作業者が誰でも美しい仕上がりが期待できることも、品質の安定化には欠かせません。

### ✓ 安全性の確保（PSEマーク取得有無）

PSEマークとは、電気用品の安全性確保を目的とした「電気用品安全法」の基準をクリアした電化製品に付けられる証です。安全性について確認ができないPSE非対応のマシンは、作業時の事故につながる可能性があるため、缶バッジマシン選びでは重視すべきポイントの一つです。

### ✓ アフターサポート

マシンのトラブルが発生した場合やメンテナンスが必要な場合に、迅速な対応があれば生産ラインの停止時間を最小限に抑えられます。購入時だけでなく、手厚いアフターサポート体制を確保することが重要です。

### ✓ ラミネーターの導入

デザインを印刷した用紙を事前にラミネートすることで、ゴミの混入や静電気による巻き込み不良を最小限に抑えることができ、効率性が向上します。また、シェル・用紙・フィルムを置く動作から、「シェルの上に用紙を置く」というシンプルな動作に代わることで生産スピードも上がります。

## 素材・仕入れ先

### ✓ 発注から到着までのスピード

素材や部品が適切なタイミングで供給されない場合、生産ラインの停止や遅延が生じて、コストと時間の損失が発生する可能性があります。

仕入れ先の選定においては、発注から納品までのリードタイムをいかに短縮できるか、また急な発注に対してどの程度応えてくれるかを評価する必要があります。

### ✓ 商品の管理体制

在庫切れリスクがないか、パーツに傷やサビなどの不良を発生させない保管環境を構築できているかといった、商品の管理体制は重要な評価の材料となります。

### ✓ カスタマーサポート

仕入れる商品に関する疑問や問題が発生した場合、スムーズな対応が必要です。円滑なコミュニケーション、有効性の高い回答や対応ができるところが信頼できる仕入れ先だと考えられます。



# 缶バッジマシン、パーツは「バッジマンネット」

ここまで見てきた課題とそれに対する改善策の大きな助けとなるのが、バッジマンネットです。缶バッジ製作ビジネスで他社より一歩先に行くためには、高性能なマシンや品質の良い素材と、幅広い知識によるサポートが重要です。そのすべてを叶えるバッジマンネットのサービスについて紹介します。

## バッジマンネットとは

バッジマンネットでは、缶バッジの本場であるアメリカの高品質な商品を低価格で提供する、缶バッジマシン・パーツの専門店です。

“Power To Create” (創造する力)を原動力に、缶バッジの素晴らしい魅力を紹介、発信しています。高品質・低価格をモットーに、圧倒的な在庫数と豊富な種類を提供し、商品販売だけではなく、缶バッジ製作のサポート全般を行います。

バッジマンネットは、パーツ・マシンといった製作環境を提供する立場であり、顧客の競合にはなりません。缶バッジ製作のノウハウ含めた情報提供やサポートを、惜しみなくお伝えしています。トラブル時はもちろん、生産体制や商品選びを初め、事業に役立つ具体的な情報を積極的に提供いたします。



動画で観る  
缶バッジの作り方



High Quality Parts



ライセンスグッズを  
始めるなら缶バッジから！

高品質な缶バッジを効率的に生産する  
稼働づくりのポイント

ビジネスのための缶バッジ活用術



お役立ち情報

人気のガチャガチャでビジネスチャンスを獲得するための参考情報を紹介



お役立ち情報

工場での品質管理と品質保証の違いや缶バッジ生産における品質について解説



缶バッジ製作の質と効率を高めるために見直すべきポイントは？  
自動缶バッジマシンの  
有用性と選び方を解説

バッジマンネットのサイトでは、缶バッジビジネスのためのお役立ちコラム、Ebookの無料閲覧も可能です。

[お役立ちコラムはこちら ▶](#)

[Ebookはこちら ▶](#)

# 生産性向上の課題に立ち向かう「バッジマンネット」のこだわり

## 最適なマシン選定を サポート

缶バッジマシンの豊富なノウハウをもつバッジマンネットでは、マシン導入のご相談も承っています。お客様それぞれの体制やニーズに応じた、最適なマシン選びをサポートします。



## 長く使える マシンの提供

バッジマンネットの取り扱う缶バッジマシンは、精度の高い仕上がりはもちろん、本場アメリカ製のメタル仕様で抜群の耐久性を誇っています。なかには、定期的なメンテナンスで10年使い続けているお客様がいるほどです。使用生産量が増加しても安定的なクオリティでの生産ができ、稼働の安定性を実現します。



## マシンの アフターサポート

バッジマンネットでは、販売しているすべての缶バッジマシンに対し、修理・メンテナンス対応を実施しています。他社ではパーツ交換だけ行うようなメンテナンス体制をとっている場合もありますが、バッジマンネットではお客様が求めている以上の品質で長く缶バッジが作れるよう、より踏み込んだサポートを実践しています。



## 安全性の確保

バッジマンネットの自動缶バッジマシンは、法が定める安全基準をクリアしていることを示すPSE（電気用品安全法）に対応しています。また、万が一提供商品で顧客の事故やケガが発生した場合には、損害を補償できるようPL保険（生産物賠償責任保険）にも加入しているため、安心してお使いいただけます。



## 高品質な パーツの提供

バッジマンネットの缶バッジパーツは、バッジマンネットの缶バッジマシンに最適なパーツです。バッジマンネットが独自で品質改良し、検証し、合格したものを提供しています。



## 豊富な在庫と スピーディーな発送

バッジマンネットの主要アイテムは常時30～100万個の在庫があり、いつでも必要な量を配送可能です。ほしいときにすぐ提供できる体制を実現し、「倉庫代行」としても活用できます。関東・関西の主要地であれば、最短で注文翌日のお届け可能です。見積もり不要でECから注文できるので、急な材料不足でも安心です。



## 徹底した 商品管理体制

バッジマンネットでの保管中に、商品（パーツ）に傷やサビといった不良が発生しないよう、厳しい管理体制を敷いています。とくにサビは最大の敵であるため、予防として倉庫環境だけでなく防錆剤にもこだわりがあります。多くの企業はサビ防止に乾燥剤を使用していますが、長期的な保管には不十分であるため、バッジマンネットでは防錆剤「CORTEC VpCI-146」を採用しています。国内で一般流通している防錆剤と異なり、92%天然由来成分で有害物質を含まず、人にも環境にも優しいこだわりの防錆剤です。



# まとめ

今回は缶バッジ製作ビジネスに関する現状と展望、そして課題とその解決についてご紹介しました。

個々の好みに合わせたグッズが求められる時代。缶バッジビジネスは、今後も大きな可能性を持つ分野のひとつになっていくと考えられます。しかしその一方で、競争が厳しくなることは避けられません。市場で勝ち抜くためには、缶バッジ製作における生産性が重要となります。事業成果の着実な成長を望むのであれば、生産体制の見直しが求められます。

まずは今回ご紹介したポイントについて、現状と照らし合わせながら課題を特定し、できることから改善に向けた取り組みを行う必要があります。

**バッジマンネットは  
缶バッジ製作におけるプロフェッショナルとして、  
必ずお役に立つ情報、製品、サービスをご提供いたします。**

**ぜひご活用ください。**



<https://www.badge-man.net>

**お問い合わせ** ▶

**資料請求** ▶